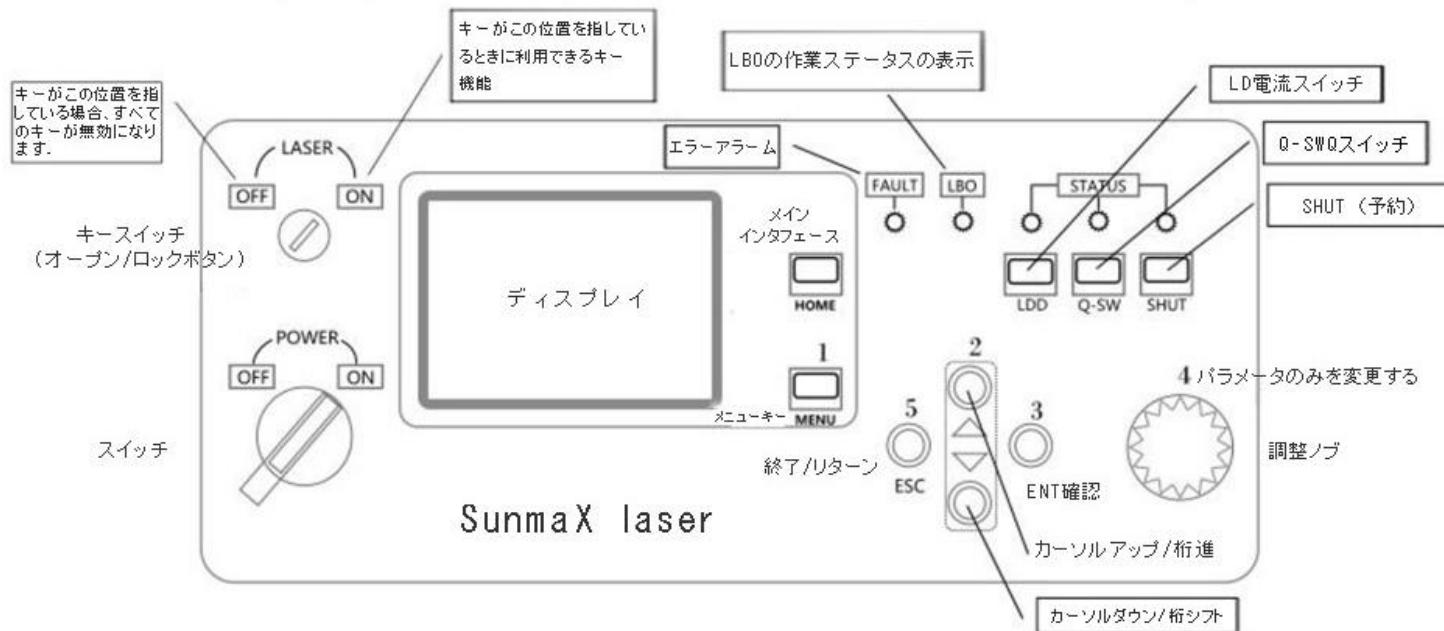


## パネル機能の説明とプロセスの参照



### 起動プロセス :

最初に冷却装置を開き、30秒後に電源スイッチをオンにし、1~3分待ちます。LBO が消えた後、LDD と Q-SW を押してください。電力が安定するまで 10~30 分待ちます。

### シャットダウンプロセス :

Q-SW と LDD を押して、LDD フローが 0 になるまで待ちます。次に、電源スイッチと冷却装置をオフにしてください。

### 電力規制 :

電力は周波数とパルス幅に関連しており、最大周波数は 30 または 40 kHz で、パルス幅に反比例します。

例えば、40KHz では、最大電力のパルス幅は 1US、最小電力のパルス幅は 25 US です。20KHz では、最大電力パルス幅は 1us で、最小電力のパルス幅は 50 US です。パラメータは、内部または外部で制御できます。

オプションは以下の通りです。

FPS 信号	:	on
ゲート 入力	:	ext
トリガー モード	:	ext
FPS 入力	:	int
その他のパラ設定		->

### 外部制御 (ソフトウェア設定)

レーザーモード	:	CW
FPS 信号	:	on
ゲート 入力	:	int
トリガー モード	:	int
FPS 入力	:	int
その他のパラ設定		->

### 内部制御

(内部制御パラメータの設定、  
そして電源を入れた後に直接  
光を取り出す)

### パラメータフローを表示および変更 :

- 1、MENU を押します
- 2、押すを選択します。  
**2** (This step is highlighted with a red box)
- 3、ENT を押して入力します。パラメータは 2、3 を繰り返して変更します。
- 4、ノブを調整してパラメータを変更します。
- 5、ESC を押して 1 回終了し、保存するかどうかを選択します。

# メニューレベルアップ

※モデルにより、ソフトウェアのバージョンが異なります

ポートインターフェース

LD1 I: 7.31	LD2 I: 7.17
LD1 T: 28.86	LD2 T: 30.17
レーザーモード: cw	
ゲート 入力 : ext	
Int PEF : 40.0KHz	
シャッター : on	
QSステータス : on [HOME]	

LD1 / 2の実際の電流サイズ  
LD1 / 2実際の温度値  
レーザーモード(レビューライトに影響します/最初のパルス)  
ゲート信号モード内部制御/外部制御  
内部パルス繰り返し周波数値  
シャッターアクチュエーターの状態(予約済み)  
RS232Cのステータス

左ダブルボンブレー ザーメニュー  
示されている単一のボンブ表示  
右側に  
ESCキー/ ENTキー

変更したすべてのパラメータを保存しますか?  
ESCを押す--保存しない  
Enterキーを押して--保存

LDリアル I : 7.31	SET REAL
LDリアル T : 28.86	LD1 電流
レーザーモード : CW	LD2 電流(これなしのシングルポンプ)
ゲート入力 : ext	LD1 温度
Int PEF : 40.0KHz	LD2 温度(これなしのシングルポンプ)
シャッター : on	LD 実行時間
QSステータス : on [HOME]	

メニューキー

ダイオード設定
LBO 設定
QS 設定
ファン 設定
情報

[MENU-V8.2.85]

周波数(KHZ) ←  
周波数幅(US)  
最初のパルス蓄積時間  
RFパルスが開く時間

LDパラメータ設定  
LBOパラメータ設定  
RS232Cパラメータの設定  
ファン設定(空冷モデルのみ)  
システムメッセージ

ノブの変更  
ノブの変更

選択、ENT ENTER

ソフトウェアバージョン

周波数(KHZ)

周波数幅(US)

最初のパルス蓄積時間

RFパルスが開く時間

設定値実際の値  
LD1 電流  
LD2 電流(これなしのシングルポンプ)  
LD1 温度  
LD2 温度(これなしのシングルポンプ)  
LD 実行時間

工場出荷時の設定は変更しないで  
ください

設定値実際の値  
2 周波数倍増温度  
3 周波数二倍温度  
(グリーンレーザーにはこのアイテムはありません)

SHG T : 64.35	SET REAL
THG T : 65.45	SHG I TEC: 0.74
SHG I TEC: 0.88	THG I TEC: 0.88
LBO ポイント番号 : 1	LBO ポイント sts : 1
ポイントラムタイム: 01234	ポイントラムタイム: 01234

レーザーモード : cw	SET REAL
FPS 信号 : on	レーザーモードの動作モード
ゲート入力 : ext	FPSファーストパルス抑制信号
トリガーモード : ext	ゲートソース、INT 内部/EXT 外部
FPS 入力 : int	QSトリガーモード、INT 内部/EXT 外部
その他のパラ設定	FPSソース、INT 内部/EXT 外部

内部制御  
パラメータ  
この設定による通常のマーキング

Int PRF : 40.0KHz
RFオフ時間 : 1.0us
RFTd 時間 : 1.0us
RFオン時間 : 24.0us

ファン : 25.00	SET REAL
ファン テック : 121	ファン 温度
	TEC 冷却電流

【ファン設定】

設定値実際の値  
ファン 温度  
TEC 冷却電流

(エア-空冷モデルのみ)

LP SN:00E8016F0792	SET REAL
PS SN:LP0540	レーザーヘッドシリアル番号
LH SN:LD25008	
ERRCODE:00	現在のエラーコード(コードの意味については5ページを参照)
異常 リセット : 30.01	この温度の工場試験報告書を参照し、
プレート 温度 : 4.3%	チラーを調整してください。
湿度	偏差がある場合の温度 (非常に重要)

レーザーヘッドシリアル番号

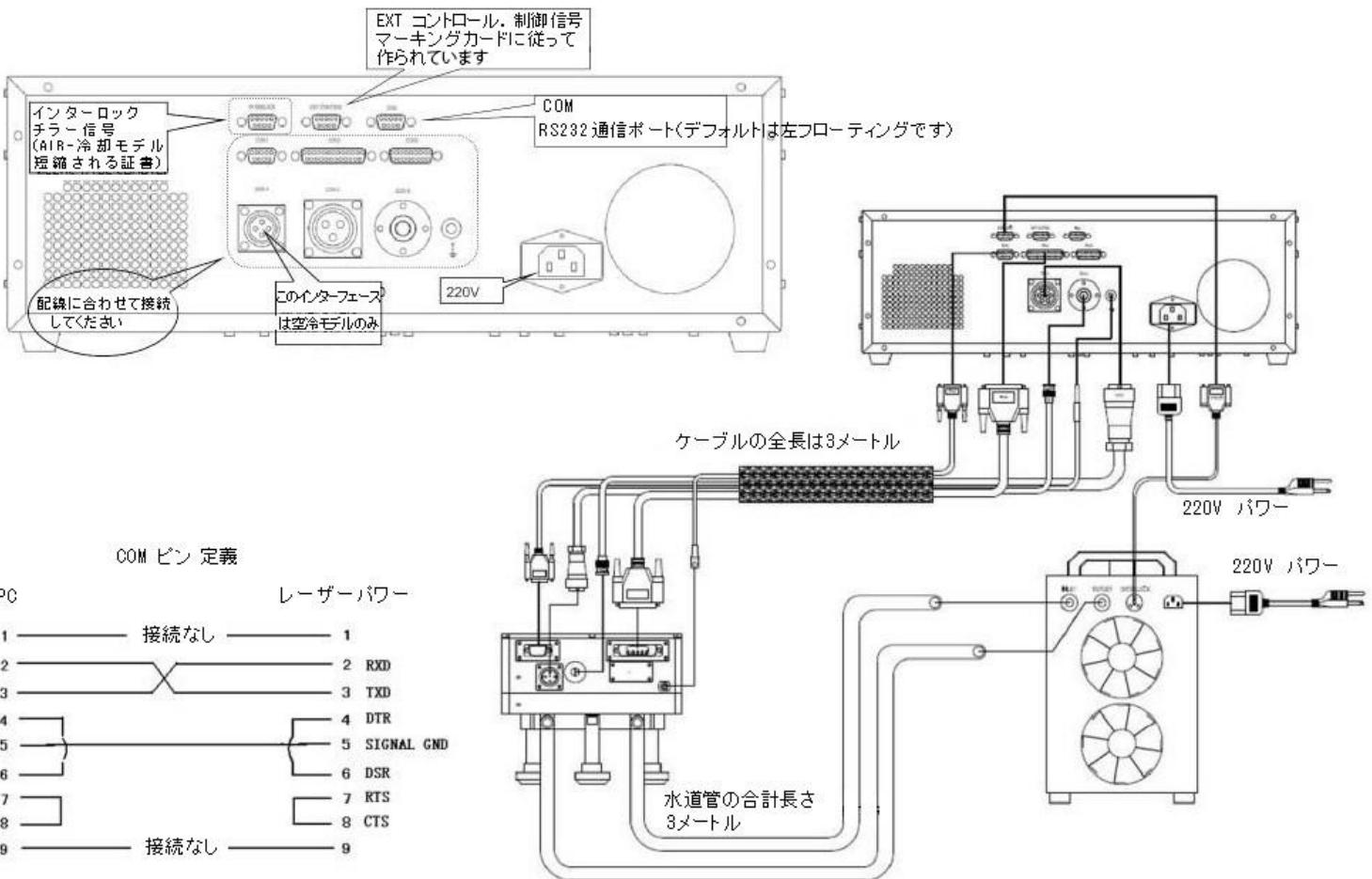
現在のエラーコード(コードの意味については5ページを参照)  
この温度の工場試験報告書を参照し、  
チラーを調整してください。  
偏差がある場合の温度  
(非常に重要)

周波数 (KHZ) 周波数

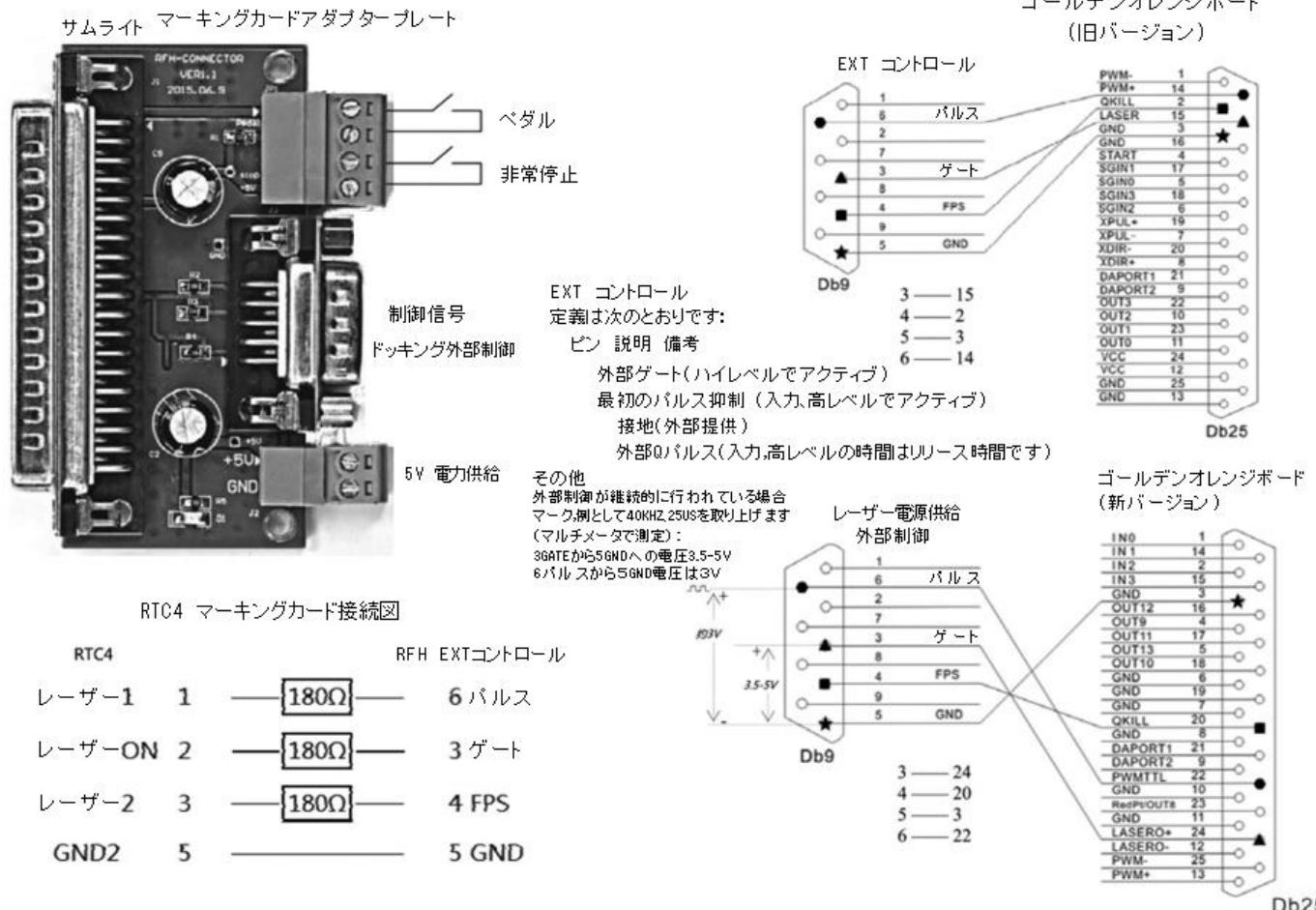
幅 (us) の 最初のパルス

蓄積時間 RF パルスが開く時間

# 電気接続図

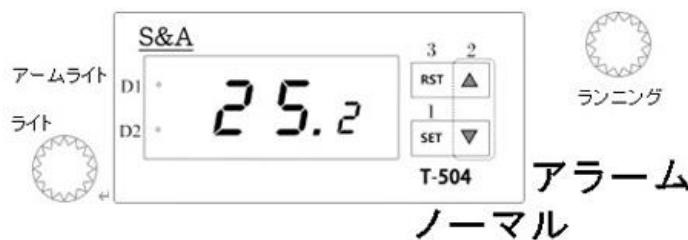


## 外部制御信号



# チラー温度調整

## レーザーエラーコード表



### チラー温度設定

1. SETボタンを押す(D1が点滅します)
2. 温度を調整する
3. **RST** 保存する

故障の原因	エラーコード	故障の原因	エラーコード
LD オーバー電流	01	インターロック保護	11
LD 過熱	02	制御接続が開いているときに警告する	12
LD TEC 過電流	03	ファンTECオープン回路保護	13
SHG 過熱	04	ファンTEC過熱保護	14
THG 過熱	05	LD2過電流保護	15
SHG ドライブオーバー電流	06	LD2過熱保護	16
THG ドライブオーバー電流	07	LD2 TEC 過電流保護	17
湿度保護	08	レベル 1 認定期限切れアラーム	18
ベースプレート温度保護	09	レベル 2 認定期限切れアラーム	19
水の保護	10		